

日本・韓国・台湾の女子大学生の国際志向性及び国際協力
に関する意識調査（中間報告）
—「グローバル人材」の育成に向けた現状と課題—

柳川 伸二¹

Survey on Global Mindedness and Attitude toward International
Cooperation of Female University Students in Japan, South Korea and
Taiwan (Interim Report)

—Current Status of Global Human Resources Development and its Challenges—

Shinji Yanagawa

本報告書の位置づけ

本報告書は、2014 年度から 2018 年度までの 5 年間にわたって実施した日本・韓国・台湾の女子大学生の国際志向性及び国際協力に関する意識調査の結果を速報的に取りまとめた中間報告であり、本調査結果を踏まえた新たな知見の提示等学術的な成果については、時間的制約からおいて整理する予定である。

1. 調査の目的と背景

環境、エネルギー問題、自然災害、感染症、食糧問題など、一国や一地域だけで解決することが困難であり、国際社会が共同で取り組むことが求められている地球規模課題が山積している今日、日本は国際社会の責任ある一員として、国際協力の分野においても、相応の役割を果たしていく必要がある。しかしながら、国連等の国際機関における邦人職員の数は望ましい水準をはるかに下回るなど、国際社会への人的貢献という意味では、日本は十分な役割を果たしているとは言い難いのが実態である。加えて、「内向き志向」という表現に象徴されるように、若い世代の海外に対する関心の低下がしばしば指摘されており、OECD 等の統計²によれば、海外留学する日本人学生数は、2004 年の 8.3 万人をピークに減少傾向にあり、2016 年は 5.6 万人にとどまっている。

こうした状況に対して、大学における教育・研究活動の中で、国際交流・国際協力の体験と教育プログラムを融合する取組を推進し、国際社会で活躍できる人材の土台づくりと意識づくりに取り組むことが、これまで以上に強く求められている。昭和女子大学は、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」（2014 年度からは「スーパーグローバル大学等事業」の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」に名称変更）に、私立女子大学として唯一選定され、昭和ボストンや海外協定校と連携したグローバルプログラムへの参加と、東京キャンパスでの英語学習と外国人留学生との交

¹ 昭和女子大学 現代ビジネス研究所 研究員

² 出所：「外国人留学生在籍状況調査」及び「日本人の海外留学者数」等について（平成 31 年 1 月 18 日文部科学省）
URL:http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afiedfile/2019/01/18/1412692_1.pdf

流による異文化体験を通じて、激動する国際社会の中で政治・経済・文化などの諸領域においてグローバルな課題に対して問題意識を持ち、国際社会において主体的に行動できる人材（「グローバル人材」）の育成を積極的に推進している。

また、昭和女子大学では 2014 年度に国際交流センターが運営する国際交流イベント組織「Global Network」が立ち上がり、現在は約 650 名もの学生が登録し、留学生サポート、国際交流イベント等を実施している。また、学生主体のサークルである国際貢献クラブも積極的な活動を実施するなど、学生の間で関心が高まっている。

本調査では、産学官でグローバル人材育成に向けた取り組みが進められている昨今、①日本の女子大学生の海外への関心は他国の女子大学生と比較すると本当に低いといえるのか、②昭和女子大学生の海外への関心は日本の他の女子大学生と比較すると高いといえるのか（昭和女子大学において推進しているグローバル化に向けた取り組みは昭和女子大学生の意識・行動に影響を与えているのか）、③特に昭和ポストンでの海外留学が必須となっている英語コミュニケーション学科、国際学科及びビジネスデザイン学科の 3 学科（以下、「国際系学科」という。）の学生の海外への関心は他の学科のそれよりも高いのか（海外留学経験は国際志向性を醸成するのか）、といった問題意識の下、アンケート・インタビュー調査を通じて、日本の女子大学生及び昭和女子大学生の国際協力に対する意識や国際協力活動の実態、その阻害要因を明らかにし、調査結果を基に、グローバル人材の育成に向けた課題や大学の支援のあり方についての参考資料を提供することを目的としている。

2. 先行研究・調査

留学や海外での仕事への関心は男性よりも女性の方が高く、特にビジネス系の学部においてその傾向が強い。国際志向は、外国文化・外国語の学習や海外経験との関連性が高い（Clarke 2004）。

大学生の国際協力意識を論じた先行研究は多くないが、代表的な研究としては、前林・江田（2002）、横田・小林（2013）がある。前林・江田（2002）の調査では、大学生の国際協力に対する意識や活動状況等について国内 13 大学を対象にアンケートを実施している（有効回答数：1,723）。その結果、大学生の国際情勢への関心は全般的に低い、女性の方がより低い。一方、男性よりも女性の方が国際協力への関心が高く、実際に国際協力に関するボランティア活動をしている割合も高いことが明らかにされている。

横田・小林（2013）の調査では、国内 15 大学を対象にアンケートを実施（有効回答数：2,247）した。そのうち、国際的な教育に注力している立命館アジア太平洋大学及び明治大学国際日本学部の 2 校を「国際化推進大学群」とし、その他の大学を「一般大学群」として比較分析を行っている。その結果、全体的に男性よりも女性の方が国際志向が強く、就職を間近に控えた 3、4 年生よりも 1、2 年生の方がその傾向がより強いことが明らかにされている。また、短期の海外研修に参加することによって外国に興味を持ち、後に長期留学を実現させることが少なくないとの報告（松田 2012）もある。

3. 調査実施体制

(1) 担当教員：チャン・マーク准教授（人間文化学部国際学科）

(2) 総括：柳川 伸二（現代ビジネス研究所研究員）

(3) 学生プロジェクト・メンバー：下表のとおり（学科・学年はプロジェクト実施時）。

年度	氏名（敬称略）・学科・学年
2014	蒨 彩子（国際学科4年） 管家 妃佳里（管理栄養学科3年） 楯 真帆（英語コミュニケーション学科3年） 増子 和希（現代教養学科2年） 大澤 遥香（英語コミュニケーション学科1年）
2015	打越 有香（ビジネスデザイン学科3年） 太田 理沙子（ビジネスデザイン学科1年） 眞榮城 好香（ビジネスデザイン学科1年）
2016	Tee Xin Yee（ビジネスデザイン学科1年） 金牧 美寿々（現代教養学科1年）
2017	畑 千遥（日本語日本文学科3年） Tee Xin Yee（ビジネスデザイン学科2年） 金牧 美寿々（現代教養学科2年） 佐々木 春海（現代教養学科1年）
2018	石井 希（現代教養学科4年） Tee Xin Yee（ビジネスデザイン学科3年） 新井 伶奈（現代教養学科3年） 金牧 美寿々（現代教養学科3年） 鈴木 理子（英語コミュニケーション学科1年） 吉野 蓮（英語コミュニケーション学科1年）

4. 調査プロセス

各年度の主な活動内容及び詳細日程は下表のとおり。

年度	主な活動内容
2014	<ul style="list-style-type: none"> 調査手法の確立と今後の調査の方向性を確認するための予備的調査
2015	<ul style="list-style-type: none"> 昭和女子大学生を対象としたアンケート調査 昭和女子大学国際交流センターへのインタビュー調査
2016	<ul style="list-style-type: none"> 昭和女子大学の海外協定校であるソウル女子大学校（韓国／ソウル）及び淑明女子大学校（韓国／ソウル）を対象としたアンケート調査 国民大学校（韓国／ソウル）から昭和女子大学に留学中の韓国人留学生へのインタビュー調査
2017	<ul style="list-style-type: none"> 昭和女子大学の海外協定校である誠信女子大学校（韓国／ソウル）とのワークショップ（日中韓プログラムの一環として昭和女子大学内で実施） 韓国調査旅行（淑明女子大学校とのワークショップ） 昭和女子大学生へのインタビュー調査
2018	<ul style="list-style-type: none"> 昭和女子大学の海外協定校である東海大学（台湾／台中）を対象としたアンケート調査 台湾調査旅行（東海大学とのワークショップ）

年度	月日	内容
2014	4月22日	助成金審査結果通知
	7月25日	第1回プロジェクト・ミーティング (調査概要の説明)
	9月5日	第2回プロジェクト・ミーティング (調査項目の検討)
	10月3日	第3回プロジェクト・ミーティング (アンケート調査票の検討)
	11月14日	第4回プロジェクト・ミーティング (プレテスト)
	11~12月	アンケート調査 (第一回予備的調査)
	1月9日	第5回プロジェクト・ミーティング (アンケート集計結果の分析)
	1月	アンケート調査 (第二回予備的調査)
	2月5日	第5回プロジェクト・ミーティング (担当教員及びプロジェクト・メンバーへの調査報告書(案)の説明)
	2月6日	調査報告書提出
	3月28日	研究報告会
2015	4月16日	助成金審査結果通知
	4月18日~5月9日	学生プロジェクト・メンバー公募
	5月22日	第1回プロジェクト・ミーティング (調査概要の説明)
	6月26日	第2回プロジェクト・ミーティング (調査項目の検討)
	9月25日	第3回プロジェクト・ミーティング (アンケート調査票の検討)
	10月30日	第4回プロジェクト・ミーティング (アンケート調査票の検討)
	11月27日	第5回プロジェクト・ミーティング (プレテスト)
	12月上旬~中旬	アンケート調査 (第1回)
	12月18日	第6回プロジェクト・ミーティング (アンケート結果の分析)
	12月21~22日	アンケート調査 (第2回)
	1月22日	第7回プロジェクト・ミーティング (アンケート結果の分析)
	1月29日	国際交流センターへのインタビュー調査
	2月4日	第8回プロジェクト・ミーティング (調査報告書(案)の検討)
2月10日	調査報告書提出	
3月26日	研究報告会	
2016	4月21日	助成金審査結果通知
	4月25日~5月7日	学生プロジェクト・メンバー公募
	5月13日	第1回プロジェクト・ミーティング (調査概要の説明) 国際交流センターとの意見交換
	6月15日	第2回プロジェクト・ミーティング (調査項目の検討)
	7月6日	第3回プロジェクト・ミーティング (アンケート調査票の検討)
	7月27日	第4回プロジェクト・ミーティング (プレテスト)
	8月下旬~10月上旬	アンケート調査 (ソウル女子大学校/淑明女子大学校対象)
	9月7日	第5回プロジェクト・ミーティング (調査スケジュールの再検討)
	11月2日	第6回プロジェクト・ミーティング (アンケート結果の分析)
	11月10日	第7回プロジェクト・ミーティング (アンケート結果の分析)
	12月6日	韓国人留学生へのインタビュー調査
	12月15日	中間報告会 (現代ビジネス研究所研究員サロン)

	2月4日	調査報告書提出
	4月15日	研究報告会
2017	4月14日	助成金審査結果通知
	4月16日～28日	学生プロジェクト・メンバー公募
	5月26日	第1回プロジェクト・ミーティング（調査概要の説明）
	6月9日	第2回プロジェクト・ミーティング（調査項目の検討）
	7月7日	第3回プロジェクト・ミーティング（アンケート調査票の検討）
	7月28日	第4回プロジェクト・ミーティング（プレテスト）
	8月21日	誠信女子大学校とのワークショップ（昭和女子大学キャンパス）
	9月24-26日	淑明女子大学校とのワークショップ（淑明女子大学校キャンパス）
	10月12日	第5回プロジェクト・ミーティング（調査スケジュールの再検討）
	10月22日	第6回プロジェクト・ミーティング（アンケート結果の分析）
	11月12日	第7回プロジェクト・ミーティング（アンケート結果の分析）
	12月21日	昭和女子大学生へのインタビュー調査
	2月4日	調査報告書提出
	4月14日	研究報告会
2018	4月27日	助成金審査結果通知
	4月30日～5月20日	学生プロジェクト・メンバー公募
	6月7日	第1回プロジェクト・ミーティング（調査概要の説明）
	7月18日	第2回プロジェクト・ミーティング（調査項目の検討）
	7月30日	第3回プロジェクト・ミーティング（調査項目の検討）
	8月31日	第4回プロジェクト・ミーティング（インタビュー調査票の検討）
	9月26日	第5回プロジェクト・ミーティング（プレテスト）
	9月28-30日	東海大学とのワークショップ（東海大学キャンパス）
	10月22日	第6回プロジェクト・ミーティング（ワークショップ結果の分析）
	10月下旬～12月中旬	アンケート調査（東海大学他対象）
	1月17日	第7回プロジェクト・ミーティング（アンケート結果の分析／調査報告書（案）の検討）
	2月4日	調査報告書提出
	4月中旬（予定）	研究報告会

5. 調査内容・方法・結果概要

本調査では、アンケート調査を計4回（有効回答数計738）実施した。各アンケート調査の内容、方法及び単純集計結果概要は別紙のとおりである。

参考文献・資料

CLARKE, VELTA (2004) 'Students' global awareness and attitudes to internationalism in a world of cultural convergence', *Journal of Research in International Education* 3(1).

安藤明之（2009）『初めてでもできる 社会調査・アンケート調査とデータ解析』日本評論社.

岡田信弘（1996）「大学生の「平和」と「国際協力」に関する意識」『明治学院論叢』第 578 号 87-118 頁.

斉藤泰雄（2009）「わが国の国際教育協力の在り方に関する調査研究」

（https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/pdf/InternationalEducation.pdf） 国立教育政策研究所、2014.5.1.

昭和女子大学（2012）「平成 24 年度グローバル人材育成推進事業構想調書」

（http://cie.swu.ac.jp/files/2012/12/2012global_all.pdf） 昭和女子大学国際交流センター、2014.5.1.

田中秀和（2010）「国際協力と国民的合意形成」『季刊 政策・経済研究』Vol.4 81-95 頁.

独立行政法人国際協力機構（JICA）地球ひろば、株式会社国際開発センター（IDCJ）（2014）「グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査」最終報告書（第 2 分冊）（案）

（http://www.idcj.or.jp/pdf/reference_20140308.pdf）株式会社国際開発センター、2014.5.1.

一般財団法人経済広報センター（2013）「グローバル人材の育成に関する意識調査報告書」

（<http://www.kkc.or.jp/data/release/00000090-1.pdf>）一般財団法人経済広報センター、2014.5.1.

前林清和、江田英里香（2002）「わが国大学生の国際協力に関する意識と活動についての調査研究」『神戸学院大学人文学部紀要』第 22 号 93-109 頁.

松田庸子（2012）「短期海外研修の成果と長期海外研修への展望」『留学交流』独立行政法人日本学生支援機構.

横田雅弘、小林明（2013）『大学生の国際化と日本人学生の国際志向性』学文社.

	調査内容・方法	結果概要
2014	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容：昭和女子大学生の国際協力に関する意識や国際協力活動への取り組み状況等 ・調査対象：昭和女子大学生 ・実施時期：2014年11月17日～2015年1月15日 ・調査手法：チャン准教授の担当講義及び筆者が特別講師を務めた講義の際にアンケート調査票を配付・回収 ・有効回答数：132 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和女子大学生（以下「SWU」という。）の国際的な仕事への関心は高く（回答者全体の86%が「とても関心がある」又は「少し関心がある」と回答。国内15大学を対象とした先行研究（横田・小林（2013））では一般大学群55%、国際化推進大学群79%。） ・現在、国際協力活動をしている学生の割合も比較的高い（回答者全体の23%が「現在、国際協力に関する活動をしている」と回答。国内13大学を対象とした前林・江田（2002）では女子大学生の5.7%が「はい」と回答）。 <p>ただし、以下の面で改善が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①回答者の約90%が、「国際系学科」に集中していた。 ②回答者層に偏り（国際協力への関心が比較的高い）があることが推察された。 ③昭和女子大学の全学生数5,449名（文部科学省「学校法人実態調査」・「学校基本調査」に基づく2015年5月1日の現員）から必要な対象者数は、回答比率0.5%、標本誤差5%ポイント、信頼水準95%（$\lambda=1.96$）とした場合、359人となるが、有効回答数が132人と十分ではなかった。
2015	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容：昭和女子大学生の国際志向性及び国際協力に関する意識や国際協力活動への取り組み状況等 ・調査対象：昭和女子大学生 ・実施時期：2015年12月 ・調査手法：昼食時間中に昭和女子大学内学生食堂（カフェテリア ソフィア）において、無作為に抽出した学生にアンケート調査票を配付・回収 ・有効回答数：311 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外留学への関心は、横田・小林（2013）の「一般大学群」を大きく上回り、「国際化推進大学群」と同率（80.6%）である。また、国際的な仕事への関心は、「一般大学群」と「国際化推進大学群」との中間に位置しており、SWUの国際志向性は比較的高いといえる。 ・学科別にみると、海外留学が必須である国際系学科（95.4%）がそれ以外の学科（70.0%）を大きく上回っている。国際系学科の中でも、特に英語コミュニケーション学科、ビジネスデザイン学科の関心が高い（96.4%）。また、国際的な仕事への関心についても、国際系学科（88.5%）がそれ以外の学科（41.7%）を大きく上回っている。国際系学科の中でも、特に英語コミュニケーション学科、ビジネスデザイン学科の関心が高い（90.9%）。 ・学年別にみると、海外留学への関心については、2-4年生（76.7%）よりも1年生（86.1%）の方が高く、海外留学が必須である国際系学科をみても、2-4年生（90.9%）よりも1年生（98.7%）の方が高い。また、国際的な仕事への関心についても、2-4年生（50.0%）より

		<p>も1年生(75.9%)の方が高く、国際系学科をみても、2-4年生(83.6%)よりも1年生(92.0%)の方が高い。これらの結果から、海外留学経験が国際志向性を醸成するという仮説を裏づける証拠は得られなかった。これは、大学入学初期に抱いている海外留学や国際的な仕事に対する憧れが、2年生以降、海外留学経験を経て、就職活動が近づくにつれて、現実的になっていることが推察される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に国際志向性が高い国際系学科1年生の国際協力への関心は67.6%とそれ以外の学科(66.9%)と同程度であり、むしろ、国際系学科2-4年生(81.8%)及びTOEIC高得点群(83.1%)の関心が高いという結果となった。これは海外留学を経験し、一定の語学力・外国人とのコミュニケーション能力を有する学生が、グローバルな課題に対して問題意識を持つようになったことが推察される。 ・全体の約7割の学生が国際協力に関心があると回答する一方、現在、国際協力活動をしている学生の割合は全体で7.6%であり、国際協力への関心が高い国際系学科2-4年生、TOEIC高得点群をみても、それぞれ8.7%、12.9%と大きなギャップがある。その理由として、国際系学科2-4年生の47.7%、TOEIC高得点群の44.0%が「きっかけ・情報がない」と回答している。また、国際系学科以外の学科では「語学に自信がない」(21.0%)がその次に多かった。ただし、現在、国際協力活動をしていない学生の68.7%が今後、国際協力活動に参加したいと回答し、特に国際系学科2-4年生(83.7%)、TOEIC高得点群(82.4%)でその傾向が強い。さらに、英語コミュニケーション学科、ビジネスデザイン学科の32.4%の学生が開発途上国でのボランティア活動に参加意欲があると回答している。
2016	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容：韓国的女子大学生の国際志向性及び国際協力に関する意識や国際協力活動への取り組み状況等 ・調査対象：ソウル女子大学校及び淑明女子大学校の学生 ・実施時期：2016年8月下旬～10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外留学への関心は、SWUの水準(80.6%)を大幅に上回る95.1%。また、国際的な仕事への関心についても、SWUの水準(61.3%)を大幅に上回る91.4%と韓国的女子大学生の国際志向性は比較的高いといえる。 ・学科別にみると、海外留学への関心は、「その他」(96.7%)が最も高く、「社会科学」(96.5%)が続くが、最も低い「自然科学」(92.3%)でも90%を上回っているなど総じて高い。また、国際的な仕事への関心についても、最も高い社会科学(91.8%)と最も低い「その他」(90.2%)の差は1.6ポイントであり、総じて高い。

	<p>上旬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査手法：Google フォームを利用したウェブ調査（国際交流センター経由で各大学に調査協力を依頼） ・ 有効回答数：243 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年別にみると、海外留学への関心については、2-4年生（94.2%）よりも1年生（98.1%）の方が高く、SWUと同じ傾向である。しかし、国際的な仕事への関心については、1年生（90.4%）よりも2-4年生（91.6%）の方が若干高い。これらの結果から、韓国の場合は、2年生以降も国際的な企業等への就職が現実的なものとして意識されていることが推察される。 ・ TOEIC スコアをみると、高得点群（500点以上）の割合は、SWUの水準（21.2%）を大幅に上回る65.4%であった。学科別にみると、「社会科学」が75.3%と最も高く、SWUの「国際系学科」の水準（36.7%）を大幅に上回る。また、学年別にみると、高得点群の割合は1年生で51.9%、2-4年生で69.1%であり、SWUの水準（1年生14.1%、2-4年生26.9%）を大幅に上回る。 ・ 全体の約9割の学生が国際協力に関心があると回答する一方、現在、国際協力活動をしている学生の割合は全体で13.2%であり、国際協力への関心が高い「社会科学」（95.3%）をみても、20.0%と大きなギャップがある。その理由として、全体の28.4%が「きっかけ・情報がない」と回答。次いで「語学に自信がない」（19.0%）が多かった。ただし、現在、国際協力活動をしていない学生の85.8%が今後、国際協力活動に参加したいと回答。特に1年生（93.6%）、「自然科学」（90.0%）でその傾向が強い。さらに、全体の22.4%の学生が開発途上国でのボランティア活動に参加意欲があると回答している。 ・ 総じていえば、SWUの国際志向性は日本の大学生平均を上回っているものの、韓国の女子大学生は語学力・国際志向性ともにさらに高く、国際交流・国際協力にも積極的な姿勢がみられた。 <p>ただし、本アンケート調査には以下の制約がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ソウル女子大学校及び淑明女子大学校の回答者層に偏り（一般的な韓国の女子大学生よりも国際協力への関心が比較的高い）があることが推察された。 ②ソウル女子大学校及び淑明女子大学校の全学生数18,857名から必要な対象者数は、回答比率0.5%、標本誤差5%ポイント、信頼水準95%（$\lambda = 1.96$）とした場合、377人となるが、有効回答数が243人と十分ではなかった。
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査内容：台湾の女子大学生の国際 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外留学への関心は、SWUの水準（80.6%）及び韓国の女子大学生の水準（95.1%）を上

<p>志向性及び国際協力に関する意識や国際協力活動への取り組み状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査対象：東海大学他の学生 ・ 実施時期：2018 年 10 月下旬～12 月中旬 ・ 調査手法：Google フォームを利用したウェブ調査（国際交流センター経由で各大学に調査協力を依頼） ・ 有効回答数：52 	<p>回る 98.1%であった。また、国際的な仕事への関心については、SWU の水準（61.3%）と韓国的女子大学生の水準（91.4%）の中間に位置する 88.5%と台湾的女子大学生の国際志向性は比較的高いといえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学科別にみると、海外留学への関心は、「社会科学」「人文科学」「自然科学」「その他」のいずれも 90%を上回っている。また、国際的な仕事への関心についても、「社会科学」「人文科学」「自然科学」「その他」いずれも 80%を上回っており、総じて高い。 ・ TOEIC スコアをみると、高得点群（500 点以上）の割合は、SWU の水準（21.2%）及び韓国的女子大学生の水準（65.4%）を上回る 67.3%。学科別にみると、「社会科学」が 73.3%と最も高く、SWU の「国際系学科」の水準（36.7%）大幅に上回り、韓国的女子大学生の「社会科学」（75.3%）と同水準である。 ・ 全体の約 9 割の学生が国際協力に関心があると回答する一方、現在、国際協力活動をしている学生の割合は全体で 19.2%と大きなギャップがある。その理由として、全体の 21.4%が「語学に自信がない」と回答した。次いで「きっかけ・情報がない」「お金がない」（16.7%）が多かった。ただし、現在、国際協力活動をしていない学生の 73.8%が今後、国際協力活動に参加したいと回答している。特に 1 年生（100.0%）でその傾向が強い。さらに、全体の半数以上の学生が大学の課外活動（サークル活動等）への参加意欲があると回答している。 ・ 総じていえば、台湾的女子大学生の国際志向性・語学力は韓国的女子大学生と同水準であり、国際交流・国際協力にも積極的な姿勢がみられた。 ・ 東海大学を対象としたインタビュー調査（2018 年 9 月 28-30 日実施）では、台湾的女子大学生の国際志向性・語学力の高さの要因として、以下の点が推察された。 <p>①幼少期からの英語教育が充実していること</p> <p>小学校の頃から英語学校に通い、ネイティブと接する機会が多いことや海外旅行の経験が豊富であることが分かった。親が英語教育に熱心で幼少期からグローバル社会を意識した教育を受けていることが、国際志向性・語学力に影響を与えていると考えられる。</p> <p>②男女間の格差が少ないこと</p> <p>女性の自立に対する意識が高く、大学入学前から明確なキャリアプランを持っている人</p>
---	--

		<p>が多かった。男女間の格差を指数化した国連開発計画（UNDP）の「ジェンダー不平等指数（GII）」に則り台湾が独自に行った評価をみても、台湾はオランダに次ぎ世界で2番目に格差が少ないとの結果が出ている。GIIは、妊婦の死亡率や女性国会議員の割合、男女の労働力比率などから男女間の不平等を数値化している。台湾の独自評価（台湾は国連加盟国ではないため UNDP のランキングに入っていないため）によると、台湾は各指標のうち特に女性の国会議員比率が 33.9%と日本（13.4%）や韓国（15.7%）よりも高くなっている。このように女性が活躍できる環境が整備されていることが、国際志向性・語学力に少なからず影響を与えていると考えられる。</p> <p>③国際協力活動に参加できる機会が多いこと</p> <p>アンケート結果をみても、現在国際協力の活動をしている学生の6割が大学の国際交流・国際協力サークル等に参加している。また、現在、国際協力活動はしていないが、今後活動に参加したいと考えている学生の半数以上が大学の国際交流・国際協力サークル等に参加したいと回答している。さらに、現在国際協力活動に参加していない学生に対して、国際協力活動に踏み込めない理由を聞いたところ、「きっかけ・情報がない」と回答した人は16.7%であり、SWUの38.8%と比較すると、大学側の支援が充実していることが窺える。インタビュー調査でも、大学からの支援が充実しているとの声が多かった。</p> <p>・昭和女子大学においても、より参加しやすくする仕掛けづくりや情報提供の充実といった大学側のさらなる支援、例えば、アンケート結果では、最も関心のある分野として「貧困」が挙げられていることから、開発途上国の貧困問題をテーマとした各種取り組みなども検討の余地があると思われる。</p> <p>ただし、本アンケート調査には以下の制約がある。</p> <p>①東海大学他の回答者層に偏り（一般的な台湾の女子大学生よりも国際協力への関心が比較的高い）があることが推察された。</p> <p>②東海大学の全学生数 18,857 名から必要な対象者数は、回答比率 0.5%、標本誤差 5%ポイント、信頼水準 95%（$\lambda=1.96$）とした場合、376 人となるが、有効回答数が 52 人と十分ではなかった。</p>
--	--	--

日本

【回答者の属性】

Table with 3 columns: 属性, 総和女子大 (人), 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

(注) 単位は別途表示がない限りすべて%で表示している。
「国際系学科」とは、英語コミュニケーション学科、国際学科、ビジネスデザイン学科を示す。
「その他」とは、英語コミュニケーション学科、国際学科、ビジネスデザイン学科以外の学科を示す。
「TOEIC高得点群」とは、TOEIC500点以上の回答者を示す。
「TOEICその他」とは、TOEIC500点未満又は受験歴なし(不明含む)の回答者を示す。

I. 国際志向性

1-1. 海外経験はありますか。(複数回答可)

Table with 6 columns: 属性, 旅行, 留学・研修, 在住(親の海外赴任等), その他, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-2. 海外留学に関心はありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-3. 国際的な仕事に関心はありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-4. あなたのTOEICスコアは。

Table with 10 columns: 属性, 受験歴なし, 0-495, 400未満, 400-495, 500-595, 600-695, 700-795, 800-895, 900-990, 不明, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他.

II. 開発途上国

2-1. あなたは、開発途上国に関心がありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

韓国

【回答者の属性】

Table with 3 columns: 属性, ソウル女子大, 東洋女子大, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

(注) 単位は別途表示がない限りすべて%で表示している。
「社会科学」とは、法学、経済学、経営学その他の学科を示す。
「人文科学」とは、文学、歴史学その他の学科を示す。
「自然科学」とは、科学、工学その他の学科を示す。
「その他」とは、教育、美術その他の学科を示す。
「TOEIC高得点群」とは、TOEIC500点以上の回答者を示す。
「TOEICその他」とは、TOEIC500点未満又は受験歴なし(不明含む)の回答者を示す。

I. 国際志向性

1-1. 海外経験はありますか。(複数回答可)

Table with 6 columns: 属性, 旅行, 留学・研修, 在住(親の海外赴任等), その他, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-2. 海外留学に関心はありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-3. 国際的な仕事に関心はありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-4. あなたのTOEICスコアは。

Table with 10 columns: 属性, 受験歴なし, 0-495, 400未満, 400-495, 500-595, 600-695, 700-795, 800-895, 900-990, 不明, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他.

II. 開発途上国

2-1. あなたは、開発途上国に関心がありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

台湾

【回答者の属性】

Table with 3 columns: 属性, 東華大学, その他, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

(注) 単位は別途表示がない限りすべて%で表示している。
「2年生以上」には大学院生も含む。
「社会科学」とは、法学、経済学、経営学その他の学科を示す。
「人文科学」とは、文学、歴史学その他の学科を示す。
「自然科学」とは、科学、工学その他の学科を示す。
「その他」とは、教育、美術その他の学科を示す。
「TOEIC高得点群」とは、TOEIC500点以上の回答者を示す。
「TOEICその他」とは、TOEIC500点未満又は受験歴なし(不明含む)の回答者を示す。

I. 国際志向性

1-1. 海外経験はありますか。(複数回答可)

Table with 6 columns: 属性, 旅行, 留学・研修, 在住(親の海外赴任等), その他, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-2. 海外留学に関心はありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-3. 国際的な仕事に関心はありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

1-4. あなたのTOEICスコアは。

Table with 10 columns: 属性, 受験歴なし, 0-495, 400未満, 400-495, 500-595, 600-695, 700-795, 800-895, 900-990, 不明, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他.

II. 開発途上国

2-1. あなたは、開発途上国に関心がありますか。

Table with 6 columns: 属性, とても関心がある(少し関心がある), あまり関心がない, 全く関心がない, どちらともいえない, 計. Rows include 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC高得点群, TOEICその他.

2-2. あなたは、開発途上国からどの地域、国を連想しますか。

Table with columns for regions/countries (e.g., 東南アジア, 東アジア, 中央アジア) and rows for student groups (全体, 1年生, 2-4年生) and subjects (国際系学科, etc.).

2-2. あなたは、開発途上国からどの地域、国を連想しますか。

Table with columns for regions/countries (e.g., 東南アジア, 東アジア, 中央アジア) and rows for student groups and subjects.

2-2. あなたは、開発途上国からどの地域、国を連想しますか。

Table with columns for regions/countries (e.g., 東南アジア, 東アジア, 中央アジア) and rows for student groups and subjects.

III. 国際協力

3-1. あなたは、国際協力に関心がありますか。

Table showing interest in international cooperation across student groups and subjects.

III. 国際協力

3-1. あなたは、国際協力に関心がありますか。

Table showing interest in international cooperation across student groups and subjects.

III. 国際協力

3-1. あなたは、国際協力に関心がありますか。

Table showing interest in international cooperation across student groups and subjects.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合
3-1-1. あなたは、どの分野に最も関心がありますか。

Table showing preferred areas of interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合
3-1-1. あなたは、どの分野に最も関心がありますか。

Table showing preferred areas of interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合
3-1-1. あなたは、どの分野に最も関心がありますか。

Table showing preferred areas of interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-2. 国際協力に関心がある理由は何ですか。(複数回答可)

Table listing reasons for interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-2. 国際協力に関心がある理由は何ですか。(複数回答可)

Table listing reasons for interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-2. 国際協力に関心がある理由は何ですか。(複数回答可)

Table listing reasons for interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-3. 国際協力に関心をもったきっかけは何ですか。(複数回答可)

Table listing factors that led to interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-3. 国際協力に関心をもったきっかけは何ですか。(複数回答可)

Table listing factors that led to interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-3. 国際協力に関心をもったきっかけは何ですか。(複数回答可)

Table listing factors that led to interest in international cooperation.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-4. それはいつ頃ですか。

Table showing when interest in international cooperation was first sparked.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-4. それはいつ頃ですか。

Table showing when interest in international cooperation was first sparked.

(3-1でとても関心がある)、「少し関心がある」と回答した場合

3-1-4. それはいつ頃ですか。

Table showing when interest in international cooperation was first sparked.

3-2. あなたは、現在、国際協力に関する活動をしていますか。

Table with 4 columns: 回答 (はい/いいえ/計), 全体, 1年生, 2-4年生, 国際系学科, その他, TOEIC. Rows show counts for each category.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-1. それは、どのような活動内容ですか。

Table with 11 columns: 募金・寄付, フェアトレード, 大学の課外活動, イベント, 海外でボランティア, 海外でボランティア, 海外でボランティア, その他, 計. Rows show activity counts.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-2. あなたは、その活動を今後も続ける予定ですか。

Table with 7 columns: 今よりもっと積極的に, 今より多少は積極的に, 現状で十分, もっと減らしてよい, 続けない, 計. Rows show continuation intentions.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-3. その活動を継続するに当たっての問題点は何か。(複数回答可)

Table with 9 columns: お金がない, 語学に自信がない, 言葉・経費活動への影響, 途上国の治安への不安, 忙しい, 知識・経験の不足, その他, 計. Rows show problem points.

(3-2で「いいえ」と回答した場合)

3-2-4. 国際協力に関する活動に踏み込めない理由は何ですか。最も近い回答を選んで下さい。

Table with 10 columns: きっかけ・情報が得られない, お金がない, 語学に自信がない, 言葉・経費活動への影響, 途上国の治安への不安, 忙しい, 知識・経験の不足, その他, 計. Rows show reasons for not participating.

(3-2で「いいえ」と回答した場合)

3-2-5. あなたは、今後、国際協力活動に参加したいと思いますか。

Table with 3 columns: はい, いいえ, 計. Rows show future participation intentions.

3-2. あなたは、現在、国際協力に関する活動をしていますか。

Table with 4 columns: 回答 (はい/いいえ/計), 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC. Rows show counts for each category.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-1. それは、どのような活動内容ですか。

Table with 11 columns: 募金・寄付, フェアトレード, 大学の課外活動, イベント, 海外でボランティア, 海外でボランティア, 海外でボランティア, その他, 計. Rows show activity counts.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-2. あなたは、その活動を今後も続ける予定ですか。

Table with 7 columns: 今よりもっと積極的に, 今より多少は積極的に, 現状で十分, もっと減らしてよい, 続けない, 計. Rows show continuation intentions.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-3. その活動を継続するに当たっての問題点は何か。(複数回答可)

Table with 9 columns: お金がない, 語学に自信がない, 言葉・経費活動への影響, 途上国の治安への不安, 忙しい, 知識・経験の不足, その他, 計. Rows show problem points.

(3-2で「いいえ」と回答した場合)

3-2-4. 国際協力に関する活動に踏み込めない理由は何ですか。最も近い回答を選んで下さい。

Table with 10 columns: きっかけ・情報が得られない, お金がない, 語学に自信がない, 言葉・経費活動への影響, 途上国の治安への不安, 忙しい, 知識・経験の不足, その他, 計. Rows show reasons for not participating.

(3-2で「いいえ」と回答した場合)

3-2-5. あなたは、今後、国際協力活動に参加したいと思いますか。

Table with 3 columns: はい, いいえ, 計. Rows show future participation intentions.

3-2. あなたは、現在、国際協力に関する活動をしていますか。

Table with 4 columns: 回答 (はい/いいえ/計), 全体, 1年生, 2-4年生, 社会科学, 人文科学, 自然科学, その他, TOEIC. Rows show counts for each category.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-1. それは、どのような活動内容ですか。

Table with 11 columns: 募金・寄付, フェアトレード, 大学の課外活動, イベント, 海外でボランティア, 海外でボランティア, 海外でボランティア, その他, 計. Rows show activity counts.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-2. あなたは、その活動を今後も続ける予定ですか。

Table with 7 columns: 今よりもっと積極的に, 今より多少は積極的に, 現状で十分, もっと減らしてよい, 続けない, 計. Rows show continuation intentions.

(3-2で「はい」と回答した場合)

3-2-3. その活動を継続するに当たっての問題点は何か。(複数回答可)

Table with 9 columns: お金がない, 語学に自信がない, 言葉・経費活動への影響, 途上国の治安への不安, 忙しい, 知識・経験の不足, その他, 計. Rows show problem points.

(3-2で「いいえ」と回答した場合)

3-2-4. 国際協力に関する活動に踏み込めない理由は何ですか。最も近い回答を選んで下さい。

Table with 10 columns: きっかけ・情報が得られない, お金がない, 語学に自信がない, 言葉・経費活動への影響, 途上国の治安への不安, 忙しい, 知識・経験の不足, その他, 計. Rows show reasons for not participating.

(3-2で「いいえ」と回答した場合)

3-2-5. あなたは、今後、国際協力活動に参加したいと思いますか。

Table with 3 columns: はい, いいえ, 計. Rows show future participation intentions.

